

## 校長つうしん No.48

Sapporo  
Odori

2018.3.20

鈴木 恵一



### 発表し、共有し、励まし合う

#### ◆プレゼンテーション大会 10th

3月18日(日)・19日(月)の2日間、プレゼンテーション大会が開催されました。

今年も各発表者が思い思いの形で“意味あるメッセージ”を多くの人にプレゼントしました。受け手も発表者に表現する機会と場所をプレゼントしました。お互いにコトやモノを贈り合い、とても大切な思いを共有できたはずです。



視聴覚に訴えかけるステージ上のパフォーマンスからあなたは何を感じ取りましたか？ 校舎内に展示されている作品の静寂のメッセージからあなたは何をつかみ取りましたか？ どんな価値を見出しましたか？ 価値というものは、価値を見出そうとする人の心に宿るものなのです。

発表のスタイルも学びの成果も千差万別で個人差があっても当然。大切なのは他人との比較ではありません。少し前の自分と比較してどうだったかな？ 進歩したかな？とを考えてください。最初は知識も技術もなく、何もわからなかった。何もできなかった。でも少しずつ進化して今のあなた、今の私がいる。無理だと思っていたことが無理じゃなくなっている。そんな気づきもあったはず。

#### ◆伝えたい思い

私自身、子どもの頃は人前で話すことが極端にイヤで仕方ありませんでした。教師なりたての頃は、とんでもなく下手くそな授業でした。あの頃の生徒に申し訳な





かったと思っています。でも、伝えたい思いがいっぱいありました。

「自分のことばで伝えよう」

ただその思いだけで教師を続けてきました。

毎日がプレゼン……今でも不安になることがあります。よし、やる

ぞ！と心に決めていながら、心の中で「うまくやれなかったらどう

しよう、失敗したらどうしよう」と思うのです。でも、そういう心

の葛藤を乗り越えて「自分らしくあろう」と決意した瞬間、迷いが吹っ切れるのです。

そして、自ら表現したこと、見たこと聞いたことを振り返り、今後へどうつなげるか、未来へ目を向けて考えることが大切です。人生の振り返りの機会でもあるのです。

人生はチャレンジするか、しないかです。私自身、何もできずにただ立ち尽くし後悔したこともあります。人生にはいくつもの転機があります。生きている限りチャンスは無数に訪れます。チャレンジしない人は、どんどん選択肢が狭まってゆき、チャンスが訪れても気付かないほど鈍感になっています。そして、やはり、そこで



「やるか、やらないか」を自分で決めることです。やって初めて自分の足りなさや弱さを自覚し、知性や知恵の必要性を感じるのです。人生の新たなる出発はそこからです。

時間がかかってもいい、歳を取ってからでもいい、気付いたときに行動を起こす勇気を持ってほしい。わたしもそう思いながら生きていきます。

